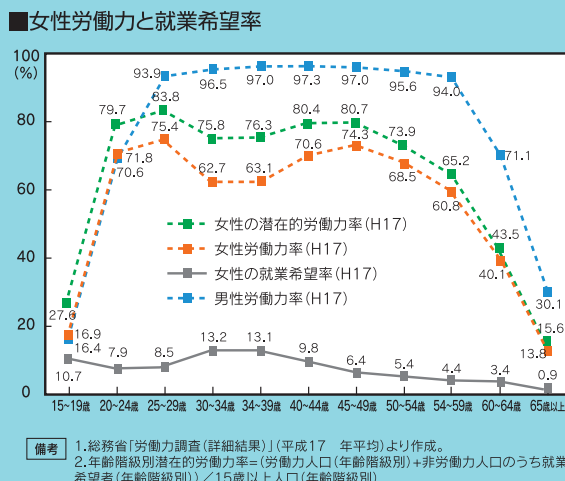


# 仕事も生活も、

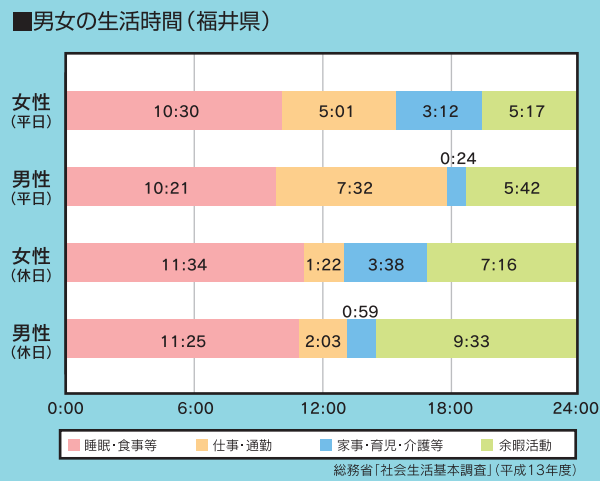
## 充実していますか？

「働きたいけど、働けない」が最も多いのは30歳代女性  
 男性の労働力率は20歳代から50歳代まで安定的な対し、女性の労働力率は30歳代が最も低くなっています。その一方で、女性の就業希望率も最も高いのも30歳代。働きたいと思っても、結婚・出産などのライフスタイルの転換を機に、仕事をあきらめなくてはならない女性の現状を示しているようです。



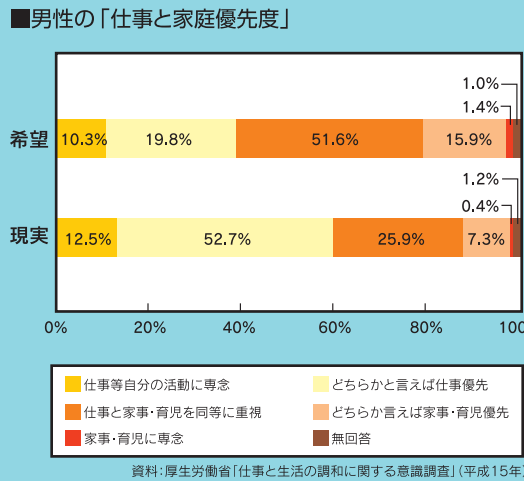
### 女性の家事負担が男性より3時間長い福井の現状

福井県の女性が家事に費やす時間は男性よりも約3時間多く家庭における女性の負担は大きいと言えます。女性が活躍できる社会をつくるためには、家庭における男女の役割、つまり夫と妻が家事や育児について話し合うことが、まずは必要となります。



### 男性も「家事・育児の時間がない」社会全体の意識改革が必要

一方で、男性側の意識はどうでしょうか。仕事と家事・育児を同等に重視したいという男性は51.6%。しかし現実にはどちらかといえば仕事を優先しなければならず、52.7%。夫は家事・育児をしないという思いがあっても、仕事と家庭の両立が難しいという現状があるようです。男女共同参画社会の実現には、職場環境をはじめ、つまり社会全体の協力や理解、支援体制が必要といえます。



自分の能力を発揮して仕事をする。家庭や地域で自分らしく過ごすこと。その両方が充実してこそ、私たちは毎日を豊かに幸せに暮らせるのではないのでしょうか。男性も女性も「仕事」だけ、「生活」だけでなく、両方を調和させて自分らしく生きるアップ・バランスな生き方が広がっています。今回の「TO YOU」では、県内で、仕事も生活も充実させていらっしゃる方にお話を伺いました。

### CASE 1 仕事+地域活動

地元の剣道少年団で「監督」  
 安原真紀さん(坂井市)  
 東レタウニング株式会社

朝8時半から夕方5時まで、会社で製品検査の仕事を終えてから、週2回、地元の丸岡剣道スポーツ少年団で剣道を教える安原さん。2時間たつぷり、小学生に教えたあと今度は自分の練習。すべてが終わるのは夜の9時半です。

小学3年生のときから始めた剣道を教えるようになったのは、2、3年前から。9歳の息子さんが見習いになり、3歳のお子さんは、隣に住むお義母さんに見てもらっています。週2回の練習以外に、自身の大会出場や子どもたちの大会に監督として参加すること



もあるそう。ご主人もお義母さんも快く送り出してくれ、家事や育児を引き受けてくれます。「剣道に打ち込んで



いるときは、穏やかな気持ちになれるし、笑いもたくさん出てきますね」と安原さん。練習中の真剣な表情と笑顔が印象的でした。

### CASE 2

### 仕事+子育て

育児休業制度を利用したお父さん  
 由田元さん(福井市)  
 福井県民生活協同組合  
 (平成18年度父親子育て応援企業顕彰受賞)



職場では営業や配送を担当し、家庭では4歳と2歳のお子さんのお父さんである由田さんは、昨年3月に、育児休業を取得しました。上司に休暇の相談をしたとき、育児休業制度利用を勧められました。「男性の育児休業取得は初めてでしたが、男女関係なく利用できる制度ですし、人員の補充や業務調整で職場もサポートしています」と、由田さんの上司である同組合福井支所長の加藤真也さん。職場の理

## 教えることで、自分も教わる。交流が広がるのも楽しい。

以前は、自分のためだけに剣道をしていましたが、子どもたちの試合を見たり、教えることによって、自分の改善点も見つかり、初心に戻ったよう、気持ちも引き締まりますね。自分が教わったことや身についたこと、あいさつなどの礼儀や忍耐力、一つの目標に向かう気持ちの大切さを子どもたちにも

教えていきたいと思っています。また教室には小学生だけでなく、自分より上の年代の方もおられるので、幅広い世代と話す機会も増えます。自分の父や母と同じ世代の方たちと話をすることができて、とても刺激になります。(安原さん)

解とバックアップが大きな後押しとなったようです。由田さん自身、幼い頃父親が単身赴任で離れて暮らしていたことがあり、「自分の子どもたちには、できるだけ寂しい思いはさせたくないと考えています」。優しい表情からも、「いいお父さん」ぶりがうかがえました。





# 男性も女性も、お互いを思いやり尊重し合える男女共同社会を目指して… 6月は「男女共同参画月間」です

福井県では、6月を「男女共同参画月間」と定めています。県民の皆さまに男女共同参画への理解と関心を深めていただくため、県や各市町ではこの期間に合わせ様々なイベントを開催します。ぜひご参加ください。

実施主体	イベント	日時	場所	問い合わせ先
福井県	ふくいきらめきフェスティバル2007 ●講演「響かせあおう 互いの心」 講師：宮本まき子氏(家族カウンセラー、エッセイスト) ●男女共同参画社会づくり功労者知事表彰 ほか (詳細は次ページをご覧ください)	6月23日(土)～ 24日(日)	福井県生活学習館 (福井市下六条町14-1)	(財)ふくい女性財団 TEL.0776-41-4254
	男女共同参画月間キャンペーン ●パネル展示 ●うちわプレゼント など	6月 1日(金)～ 5日(火) 6月 6日(水)～ 10日(日)	アビタ福井大和田店 (福井市) ポー・トン (敦賀市)	福井県男女参画・県民活動課 TEL.0776-20-0319
福井市	男女共同参画週間 啓発パネル展	6月23日(土)～ 28日(木)	福井市地域交流プラザ (アオッサ5階)ギャラリー	福井市役所 男女共同参画・少子化対策室 TEL.0776-20-5353 福井市 男女共同参画・子ども家庭センター TEL.0776-20-1537
越前市	Gカレッジ講座	6月中旬～	越前市 男女共同参画センター 「あんだんて」 TEL.0778-24-4446	越前市 男女共同参画センター 「あんだんて」 TEL.0778-24-4446
	出前研修会・出前講座	6月～		
大野市	自分らしく生きられていますか ～心も体もリフレッシュ～(講座) 講師：山品弘子	6月20日(水) 10:30～	多田記念 大野有終会館 207・208号室	大野公民館 TEL.0779-66-2828
鯖江市	男女共同参画に関するパネル・ちらし展示	6月23日(土)～ 29日(金)	鯖江市役所 市民ホール	鯖江市役所 男女参画・市民活動課 TEL.0778-53-2214
永平寺町	ほのぼのの男女料理教室(2回連続) ・1回目は和食、2回目は洋食 ・男女ペアで15組募集 ・1組4,000円(2回分) ・申込期間：5月14日(月)～6月22日(金) ※定員になり次第締切	【1回目】 6月30日(土) 9:30～12:30 【2回目】 7月7日(土) 9:50～12:30	天谷調理製菓専門学校 (永平寺町松岡兼定島34)	永平寺町役場 住民生活課内 男女共同参画室 TEL.0776-61-1111 【メール】 seikatsu@town.eiheiji.lg.jp

## ふくい 女性のチャレンジサイト

～何かをはじめたい女性のための情報サイト～ <http://www.manabi.pref.fukui.jp/challenge/>

キャリアアップしたい、起業したい、ボランティアをしたいなど女性のチャレンジを応援するサイトです。各種講座の紹介や育児・介護で困っている方への情報などをご紹介しています。

- 働きたい
- 社会貢献したい
- まちづくりに参加したい
- キャリアアップしたい
- 農林水産事業で頑張りたい
- 起業したい
- 国際貢献したい
- 育児・介護で困っている



健康長寿な福井です。



福井県男女参画・県民活動課 〒910-8580 福井市大手3-17-1  
TEL0776-20-0319 FAX0776-20-0632 E-mail danjoken@pref.fukui.lg.jp



社員として働く傍ら、公民館の講座でパソコンを教えるボランティアとして、主に火曜日の午前中の講座を担当。午後からは仕事に戻ります。4、5年前に地域の公民館に入ったパソコンをうまく利用できないかということ、立ち上げたサークル。当初は、「人に教えるほどパソコンの技術があるわけでもなく、お手伝い程度で」と考えていたそう。3人の子どもの子育ても落ち着き、台気道、エアロビ、フラ

地域で、立ち上げたサークル。当初は、「人に教えるほどパソコンの技術があるわけでもなく、お手伝い程度で」と考えていたそう。3人の子どもの子育ても落ち着き、台気道、エアロビ、フラ

### CASE 3 「仕事+ボランティア」地域のサークルで、パソコン指導

天谷公枝さん(福井市)

三興電子株式会社

ダンスなどの活動にチャレンジしたけれど、しっくりこなくてすぐにやめてしまったそう。「子育てから手が離れ、できることはボランティアかなと思っていて、ちょうどこのサークルの立ち上げに参加し、自分にできる範囲のことを始めました」と笑顔で話す天谷さん。常に何かに挑戦したいという前向きな姿勢が輝いていました。



## 自分にできることで 人の役に立つのがうれしい。

パソコンを人に教えるうちに、自分が知らないことも学べて、サークル仲間からも教えてもらうことがたくさんありました。サークルの活動を始める前と比べて、パソコンの知識や技術も上がりました。今までは地域の人々のお付き合いはあまりありませんでしたが、教室以外でも地区内で配る連絡文書の作成を頼まれるなど、地域の

人々とのつながりも増えました。これからは永く住んでいく地域だからこそ、人とのつながりは大事だと感じています。パソコン教室に来られる方と話をしてみても、実はすぐ近所の人だと分かったこともあったり。自分にできる範囲の活動ですが、家族でもなく自分でもなく、少しだけでも人の役に立てることがうれしいです。

(天谷さん)

仕事と生活のバランスをうまくとって、積極的に活動されている3名の方々は、特別なことをしているという意識はなく、話す表情は明るく活き活きとしていました。男性も女性も、やってみたくて当たり前のように挑戦できるような社会に必要なのは、本人の意識、家族の協力、会社などの周囲の理解。まずはできることから実践していくことで、男性も女性も、共に活躍できる環境が生まれるようです。

子どもが生まれてから、徐々に家事もするようになり、休日は子どもといっしょに遊んだり、食事をつくりたり。育児休業を取っている間は、子どもたちも喜んでくれていましたし、妻も安心感を持っていました。私も一緒に過ごす

せて幸せでした。男性が育児休業を取ることは、特別なことではなく、妻と協力して子どもを育てていくことは、ごく当たり前のことではないでしょうか。育児休業という形で休みをいただきましたが、とても大切な時間だったし、取

つてよかったと思っています。今後、多くの男性に育児休業を経験してほしいですね。仕事も大事ですが、やはり子どもや家族も大切です。職場の支援がありがたかったです。

(由田さん)



お問い合わせ 福井県男女参画・県民活動課 TEL0776-20-0319